

「(仮称) 神戸市歴史・公文書館整備工事設計業務」
簡易プロポーザル ヒアリング方式 評価要領

1. 委託先候補の特定方法

- (1) ヒアリング終了後、本要領に基づいて調査表及びヒアリング内容等の評価を行い、その総得点により順位付けを行い、神戸市建築工事設計監理外注委員会（以下「委員会」とする）において委託先候補を特定します。
- (2) 評価委員は7名とし、評価方法、各評価項目の評価基準と配点については、2.から3.に記載の通りとします。
- (3) 評価委員がやむを得ずヒアリングを欠席した場合は、欠席委員の評価点を1/2にして扱います。なお、評価項目③については、ヒアリング内容を踏まえた総合的な評価のため、欠席委員は評価をしません。
- (4) 評価委員全員の評価点を合算し、90点満点に換算したものを得点とします。
- (5) 神戸市内に本店を置く場合は、得点（90点満点換算後の得点をいう。）に10点を加算したものを総得点とします。

※設計共同体で応募する場合、一級建築士を有する代表設計事務所または構成設計事務所の本店が神戸市内にあり、当該事務所の業務分担率が1者につき30%以上のとき、本店の所在地を神戸市とみなします。なお、ここでいう業務分担率は、委託料の配分割合と同義です。

※委託先候補事務所に特定した時点で、設計共同体協定書等、必要な書類の提出を求めます。

2. 評価基準

- ・各評価項目について、次の区分による絶対評価とします。

極めて評価できる	評価できる	普通	やや評価できない	評価できない
A	B	C	D	E

3. 評価事項・配点

(1) 評価項目①

- ・設問1及び2に対する提案の発想、解決方法について評価します。
- ・設問1と設問2の評価の比重（重み付け）は、「設問1：設問2＝6：4」とします。

評価項目①		評価事項	評価（配点）
設問1	技術提案の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の的確性 ・提案の実現可能性 ・地域の特性の理解 ・環境配慮 	A（10点）
設問2			B（8点） C（6点） D（4点） E（2点）

(2) 評価項目②

- ・設問3に記載の設計体制や、意匠担当主任技術者等が携わった代表設計例の実績や設計趣旨等を考慮し、本業務の遂行にあたって十分な設計体制が期待できるか評価します。

評価項目②		評価基準	評価 (配点)
設問3	設計体制と実績	<ul style="list-style-type: none">・協力事務所がある場合、密接な連絡が期待できるか・現場、打合せに積極的な参加が期待できるか・代表設計例における課題解決に対する考え方を通して、知識・ノウハウが十分か また、創意工夫が期待できるか・若手・女性技術者を登用しているか	A (10点) B (8点) C (6点) D (4点) E (2点)

(3) 評価項目③

- ・設問1～3の提案内容及びヒアリング内容を踏まえ、総合的に評価します。

評価項目③		評価基準	評価 (配点)
業務の理解度・ 取組意欲		<ul style="list-style-type: none">・業務内容や課題の理解度が高いか・業務に関連する知識が豊富か・意欲、熱意が感じられ、創意工夫が期待できるか・説明、質疑の受け答えが明快であるか	A (5点) B (4点) C (3点) D (2点) E (1点)